37 イスラームのご案内 ～日本に暮らすムスリム～

２月３日　金曜日
１０：００～１１：３０

託児あり

講師　名古屋モスク渉外担当理事　クレシ サラ 好美（よしみ）

　イスラーム（イスラム教）と聞いて思い浮かべることは何でしょう？ それは本当にイスラームとして正しい知識なのでしょうか？ イスラームは、世界３大宗教の１つで、世界で２番目に多くの信者を持つ宗教ですが、キリスト教や仏教に比べて、日本ではあまり知られていません。名古屋市にもイスラームの人たちが集うモスクがあり、私たちが知らないだけで思っているより身近な存在かもしれません。
　この講座では、名古屋モスクの渉外担当理事で、大学や他市の生涯学習講座でも講義を行っている先生がイスラームを紹介します。多文化共生社会に向けて正しい知識を身に付けませんか。

講座内容
　①イスラームは厳しい？
　②イスラームの女性はかわいそう？
　③イスラームは怖い／危ない？

◆持ち物
マスク、筆記用具、ひざ掛けなど（換気のため部屋が冷えることがあります。）

定　員　16人

費　用　650円　【内訳】受講料650円

会　場　サンライブ3階　講座室1

名古屋モスク・礼拝室

名古屋モスク・外観

講師プロフィール

クレシ サラ 好美（くれし さら よしみ）

宗教法人名古屋イスラミックセンター名古屋モスク渉外担当理事、慶應義塾大学SFC研究所上席所員、早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員。

現在、慶應義塾大学大学院後期博士課程在籍中、研究テーマは、ムスリム第二世代関連。

著作は、「日本に暮らすムスリム第二世代 ―学校教育現場における実態の検証―」（『白山人類学』24、2021年）、「日本に暮らすムスリム第二世代 ―当事者の語りから見える葛藤の様相―」（『KEIO SFC JOURNAL』21(1)、2021年）、「名古屋におけるムスリムコミュニティの様相 ―モスクの活動および日本人女性による自主活動の展開―」（『グローバル・コンサーン』3、2021年）、「名古屋におけるムスリムコミュニティの様相 ―戦前期と現代のモスク設立の動きを中心に―」（『人間科学研究』33(1)、2020年）、『ハラールとハラール認証―ムスリマの視点から実情と課題を語る―』（慶應義塾大学湘南藤沢学会、2017年）など。